

「痛くなったら 歯医者に行こう」 と思いませんか？

— 定期検診がなぜ必要なのか —

歯医者に行こうと思うのは皆さんどんな時でしょう？

「痛くなったら行けばいい。痛くなければ大丈夫」と、何年も歯医者に通っていないということはありませんか？

身体他の病気で考えてみてください。「病氣」は痛くなかったら大丈夫ですか？

違いますよね。自分では感じ取れない状態、異常だとは思っていない状態、日常生活に支障のない状態でも、病気が進行していることはあります。健康診断でいろいろな検査を行い、こういった自覚のない病気を発見することができ、また早く治療を行うことで、おおごとにならないで済む場合も多々あります。世間でよく聞くようになった「早期発見・早期治療」が、なにより大切だということですね。

お口の中に話を戻すと、「痛くなったら行けばいい。痛くなければ大丈夫」という考え方は、どうでしょう？「早期発見・早期治療」の意に反しますね。

虫歯も、自覚症状のないまだ初期の段階で治療してしまえば、おおごとにならずに治療できることが多く、その歯に関しては即日治療で終わることもあります。

しかし、痛くなってから、とくに痛み止めを飲むような痛みや眠れないほどの痛みになってからでは、場合によっては歯を抜かなくてはいけないとか、治療回数を重ね治療の期間が延びる可能性も高くなります。

「痛みが生じる」ということは、虫歯が進行している表れで、身体が悲鳴を上げている状態です。

虫歯は基本的に一方通行の病気で、虫歯によって溶けてしまった部分が自然に治るということはありません。

痛み止めを飲んでいる間に痛みが無くなり、治ったと感ずる場合もあるかもしれませんが、実際には治っているのではなく、痛みを伝えていた歯の神経が虫歯によってダメになり、痛みを伝えることすらできなくなっている状態になったということです。歯が自然に治る！なんてことは思わないでください。

自然に治らない、失った部分は元に戻らないので、歯の治療は結局「詰め物」であったり、「銀歯」や「入れ歯」、「インプラント」などといった「物=商品」で補っていく治療（補綴）になるわけです。

ですから痛みを我慢して治療を先延ばしにすることは、どんどん自分の歯の部分が少なくなる（いわば、物=商品の部分が大きくなる）ということになります。これは極論すると歯を失



自分は歯周病ではないと思っている方は多いと思いますが、食後の歯磨き、定期的なお口のお掃除（歯石取り）などをしっかりされている方が、歯周病でない約 20%の人だと思ってください。

あなたはしっかりお口の手入れをされていますか？

「自分はやっている」と断言できるほどの自信がなければ、残念ながらご自身も歯周病であると思っておいた方がいいです。歯周病も自覚症状が出てからでなく、検査の段階で発見し治療を行う方が、経過がいいのは前述の虫歯や身体他の病気と同様です。

つまり、「早期発見・早期治療」を行うことが、お口の中の健康を保ちやすくなります。ただし、「早期発見・早期治療」を実施するためには、歯医者でも虫歯や歯周病などの自覚症状のないうちということになりますから、「痛い」と感じてからでは手遅れの場合もあります。そのためには「定期検診」が必要になるわけです。

歯科検診は他の診療科の検診と比べ、レントゲンも撮らず（採血・検尿などもせず）、ただ口の中を見てもらうだけだから…、と思う方もいるでしょうが、自分の口の中は自分では見えないところの方が多く、上顎なんてホント見えませんよね。明るいところで専用の器具を用いて、専門家（歯医者・歯科衛生士 ※どちらも国家資格）が見えないところを見るというのはそれだけで大きな効果があります。

「早期発見・早期治療」のために「定期検診」をしっかり行うことで、なるべく治療を簡単に済ませ、より多くの歯を残せるようにしましょう。

い、入れ歯になるのが早くなるということになります。逆に考えれば、自覚症状のない虫歯も、まだ初期のうちに治療をすれば自分の歯を多く残すことにつながるわけだから、「早期発見・早期治療」が望ましく、これは歯周病など他の病気でも同様です。「早期発見・早期治療」は、歯周病による歯の痛みや揺れ、脱落などを防ぐことにもつながりますし、虫歯の治療と同様に通院回数=治療期間も短くなりやすいでしょう。ちなみに日本では成人の約 80%が歯周病といわれており、歯を失う原因の第 1 位は虫歯ではなく歯周病なのです。

KOIKE Dental Clinic



ロビー カウンセリングルーム



診察室

小池デンタルクリニックは…

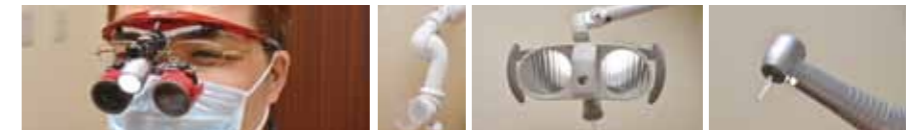
- 「一般歯科」ですのでお気軽にお訪ねください。予約診療制をとっています。
- 患者さまのご意向を確認しながら治療を進めます。診療方針として、「歯 1 本」ではなく、「口の中全体」を 1 つの単位として治療計画を立ててまいります。
- 患者さまのプライバシーに配慮し、診療室はすべて個室となっています。
- 治療計画などをご説明したり、お悩みをお聞きしたりするためにカウンセリングルームを設けています。



院長 小池 秀行

歯学博士
日本補綴歯科学会専門医

※歯が欠けたり失われたりした場合に、かぶせ物、差し歯、ブリッジ、入れ歯（義歯）、インプラントなどの人工物で補い、機能・審美を回復することを専門とし、学会で認められた歯科医師です。
社団法人日本補綴歯科学会 <http://www.hotetsu.com/p1.html>



LED 照明付歯科用双眼ルーベ
*全スタッフが所持しています。

口腔外
パキューム

LED 无影灯

LED 照明付タービン

使用器材の衛生管理のため、洗浄・消毒に関する国際規格 (ISO15883) に基づいた高度な洗浄・消毒や、高い安全性を追求した滅菌システムを採用しています。



ホルホープ (ガス滅菌器) クアトロケア (自動注油洗浄器) スティティム (高圧蒸気滅菌器) Lisa (高圧蒸気滅菌器) ミーレ ジェットウォッシャー (洗浄・消毒器)



ピエゾン
マスターサージェリー
(超音波振動外科手術器)

炭酸ガスレーザー

歯科用 CT

- 診療内容
- ・ 歯科一般外来
 - ・ 審美
 - ・ インプラント
 - ・ 歯周外科
 - ・ 口腔外科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00 ~ 12:30	●	●	●	—	●	●
午後 2:00 ~ 6:00	●	●	●	—	●	●

休診日 木曜日・日曜日・祝日 ※祝日のある週は木曜日診療